

2019年12月度活動報告

◇機関会議等

- 10日 定例理事会
17日 役員・幹部職員定期学習会

◇ネットワーク活動

- 4日 とちぎ消費者カレッジ(足利大学)
6日 とちぎ消費者カレッジ(宇都宮大学)
11日 とちぎ消費者カレッジ(國學院大學栃木短大)
12日 とちぎ食の安全ネットワーク世話人会
18日 とちぎ消費者カレッジ(作新学院女子短大)

◇行政関連

- 5日 栃木県・食品安全セミナー

◇被災地支援、防災

- 3.11 被災地の情報発信
台風19号による被災地への支援
8日 台風19号被災地支援ボランティア活動
5日、6日 栃木市避難所、炊き出し
13日 日生協中央地連大災協
24日 台風19号による被災への募金贈呈
(日生協・コープデリ連合会→栃木県)

◇その他

- 3日 日生協中央地連組合員活動推進委員会
9日 栃木県労福協会長 ご来訪
11日 とちぎ放送番組審議会

◇適格消費者団体 NPO 法人とちぎ消費者リンク◇

- 4日 事務局会議
10日 理事会

以上

栃木県生活協同組合連合会

県連活動

1. 機関会議

- 12月10日(火)、2019年度第3回定例理事会を開催

議題

【議決事項】次月度以降の活動計画及び決算報告承認／2020年度会費承認の件

【協議事項】県連創設50周年記念事業計画

【報告事項】月度定例報告／台風19号災害対応について／平和活動「沖縄研修」のご案内／日本生協連中央地連報告 及び会員報告交流議決事項

- 12月17日(火)、2019年度第5回役員・幹部職員定期学習会を開催しました。

■演題:主権者として現在「いま」を生きる

-格差と貧困を無くし、軍事政策を廃棄する民主主義者として-

■講師:NPO法人多摩住民自治研究所理事 池上 洋通 氏

「いま、世界でも日本でも格差と貧困が大きな課題として浮かび上がっています。そして日本では、ミサイル・核兵器を基本とした軍事政策の進展がやむことを知りません。国民主権をうたう憲法の下で、私たち主権者に不足していることは何かーギマンに満ちた政治のつくるスキャンダルをあざ笑っているだけではないのか? 3年前に相模原市で起きた「障害者殺傷事件」が示したこの国の社会をどうとらえなければならないのか。自分自身の歩んだ道を振り返りつつ、歴史と現在「いま」を見つめ、「共に生きる社会」への道を語ります。」(池上先生のレジュメより)



3. その他

〈適格消費者団体 NPO 法人とちぎ消費者リンクの活動〉

2日	事務局会議
10日	理事会

ネットワーク活動

1. とちぎ食の安全ネットワーク

- 12月12日(木)、第5回世話人会を開催

世話人会学習会「食品の安全に対する不安にどう対処すべきか」について、宇都宮大学名誉教授 宇田 靖 氏より解説いただきました。また「種子の会とちぎ」の共同代表・よつ葉生協理事長倉持まゆみ氏より、今後の会の活動についてのご報告と、10/10に開催した「食の安全に関するリスクコミュニケーション」のアンケート結果について、県よりご報告がありました。その他、参加団体からの活動報告を行いました。

2. とちぎ消費者ネットワーク

- 栃木県からの委託事業とちぎ消費者カレッジ、2019年度の全開催日程終了

栃木県の学生を対象に開催してきた「とちぎ消費者カレッジ」を12月は4会場で開催し、今期の日程が終了しました。11校12会場で開催し、合計1537名が参加しました。

今期開催校(開催順)…自治医科大学/白鷗大学/足利大学看護学部/宇都宮共和大学/栃木県農業大学校/文星芸術大学/作新学院大学/足利大学/宇都宮大学/國學院大學栃木短大/作新学院女子短大(開催順)

開催日	会場	講師・演題	参加者
第9回 12月4日	足利大学	クイズで学ぶ 大学生が知っておきたい契約知識とトラブル事例 講師:NPO 法人とちぎ消費生活サポートネット理事 山田 英郎 氏	166名
第10回 12月6日	宇都宮大学	インターネットあなたは賢く使ってる? ～インターネットに潜むトラブルと対処法～ 講師:栃木県在住消費生活アドバイザー 伊藤 延子 氏	78名
第11回 12月11日	國學院大學栃木 短期大学	消費者問題のイロハを学ぼう～就職する前に知っておいて欲しいこと～ 講師:弁護士 小倉 崇徳 氏	232名
第12回 12月18日	作新学院女子 短期大学部	防ごう!若者の消費者トラブル～スマホ・インターネットのトラブルを中心に 講師:弁護士 島藺 佐紀氏	111名

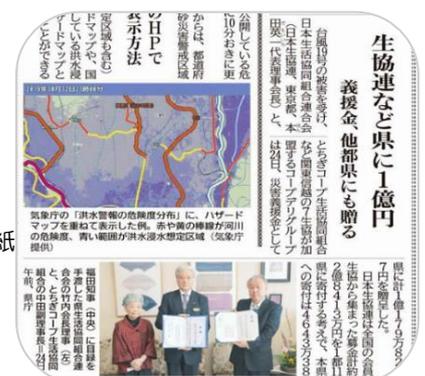
防災・被災者支援

1. 被災者支援の取り組み

- 12月24日(火)、義援金を県へ贈呈

日本生協連とコープデリグループ(とちぎコープ等が加盟)へ集まった台風19号被害への募金1億179万8247円を、災害義援金として栃木県に贈呈しました。

12月25日付け下野新聞紙



● 台風 19 号による被災者への支援ボランティアを継続しました。

県連として、12 月は右の表のとおりボランティアに協力しました。10 月からの通算で、282 名以上がボランティアに参加しています。なお、社会福祉協議会災害ボランティアセンターの運営体制変更に伴い、団体参加とりまとめは 12 月 8 日で一旦中止となりましたが、床下にもぐって泥出し作業ができるボランティアへの協力を必要としているとのことです。

	12/5(木)	12/6(金)	12/8(日)
栃木市	炊き出し 12 名	炊き出し 15 名	
佐野市			22 名

●12/8(日)ボランティアからの報告

本日の任務は、被災者宅への戸別訪問。

↓

うるうるセットをお渡ししながら「お困りの事はありませんか？」と声掛けし、新たなニーズの掘り起こし。(うるうるセットには、カイロや、メッセージ等が入っています)

↓

サンデッキの洗浄希望、庭に入った泥と砂利の分別は可能か？、側溝の泥出し希望、河川工事を行政に要望、等々の声が寄せられる。

↓

ボランティアを利用されたお宅から、感謝の声を頂く。ボラセンへ約 30 件を引き継ぎ、任務終了。

全員で、うるうるセットに入れるメッセージを作成

メッセージ作成中

●12 月 5 日(木)、12 月 6 日(金)炊き出し

栃木市が開設している避難所「西部生きがいセンター(長寿園)」へ、夕食の炊き出しを行いました。

被災から約 2 か月が経過しても、まだ 37 名の方が避難されており、施設は 12 月末までに閉鎖されるとのことでしたが、行き先が決まっていない方もいらっしゃいました。

「野菜が不足していたので、ありがたいです」「うちの食器はすべて駄目になってしまったの…」等お話しをお聞きしました。



うるうるセット





栃木市では、おでんにジャガイモが欠かせないとのこと



瀬戸物の食器を使用

● 3. 11 被災地の情報提供として、以下をホームページに掲載しました。

3. 11 を忘れない～被災のいま～ みやぎ生協・コープふくしまから宮城・福島のいまをお伝えします。「一まち・住まい・コミュニティ(7)―第 7 6 回 「復活した閉上の魅力を発信していきたい」～宮城県名取市/かわまちてらす閉上～

2. 減災・防災の取り組み

● 12 月 13 日(金)、日生協中央地連主催 大規模災害対策交流会

台風 15 号、19 号等に関して、被災地の生協連より被災状況等の報告がありました。

①長野県生協連 ②栃木県生協連 ③茨城県生協連 ④千葉県生協連

また、各都県生協連、日本生協連より、被災地支援の取り組み報告があり、今後の危機管理等について交流しました。

栃木県生活協同組合連合会 2020年1月度以降の活動予定

2019年12月28日(土)

栃木県生活協同組合連合会

2020年1月度予定	
6 日(月)	宇都宮市賀詞交換会 小山市賀詞交換会
9 日(金)	栃木県県民生活部、保健福祉部、新年ご挨拶
14 日(火)	常務理事会 栃木県農政課来訪 日生協賀詞交換会 日生協議案書検討会議
15 日(水)	日生協議案書検討会議
16 日(木)	適格消費者団体 NPO 法人とちぎ消費者リンク検討委員会
21 日(火)	とちぎ消費者ネットワーク幹事会
23 日(木)	栃木県生活協同組合連合会創立 50 周年記念祝賀会(12:30～ホテル東日本)
28 日(火)	日生協中央地連運営委員会 宇都宮市消費生活講演会
30 日(木)	とちぎ食の安全安心推進会議
31 日(金)	第 6 回理事・幹部職員定期学習会
2020年2月度予定	
3 日(月)	くらし部会
4 日(火)	労福協幹事会
14 日(金)	適格消費者団体 NPO 法人とちぎ消費者リンク理事会
18 日(火)	定例理事会
20 日(木)	とちぎ食の安全ネットワーク世話人会
28 日(金)	栃木県生活協同組合連合会創立 50 周年記念事業 前川 喜平 氏 講演会